

平成 18 年度地域づくりサポート事業：多世代交流によるあぶくま野菜図譜作成事業

岩代学講座



開催日：平成 18 年 11 月 12 日（日）

時 間：午前 10 時から午後 3 時

場 所：福島県立安達東高等学校



午前の部

10 時～10 時 30 分

【第 1 部】地域を学ぶ

阿武隈の魅力、岩代の魅力

講師：NPO 法人あぶくま地域づくり推進機構

副理事長 吉田 桂子氏

10 時 30 分～11 時 45 分

【第 2 部】先人に学ぶ

地元の偉人、渡邊閑哉の魅力

講師：元小浜小学校校長 浅和 宏 氏

午後の部

11 時 45 分～13 時 30 分

【第 3 部】伝統を食す

岩代の行事食を作って食べよう！！

指導：二本松市生活研究グループ連絡協議会

岩代支部会員

なでしこ代表 山田 マサ子 氏

13 時 30 分～15 時

【第 4 部】みんなで話そう

行事食はどうだった、毎日の食卓にはどんな野菜が並ぶかな

司会進行：伝わることば探索人

Wordian(わーでいあん) 松井 優子 氏



主催：あぶくま野菜図譜をつくる実行委員会

共催：二本松市下長折公民館

後援：二本松市・JA みちのく安達・あだたら商工会・福島民報社・福島民友新聞社・福島中央新報社

ごあいさつ

あぶくま野菜図譜をつくる実行委員会

委員長 菅野 寿雄

本日は時節柄何かとご多用の中、岩代学講座にご参加いただき誠にありがとうございます。

実行委員会を代表して一言ごあいさつを申し上げます。

私たち、「あぶくま野菜図譜をつくる実行委員会」は、阿武隈地域、とりわけ地元岩代の地域力向上を目標に、地元有志が集い本年発足したばかりの団体です。

幸いなことに、県の地域づくりサポート事業に採択されるとともに、二本松市・JAみちのく安達様等、関係機関のご支援をいただき活動しております。

本日の岩代学講座は、「地元の魅力をしっかり学ぼう」との趣旨で企画いたしました。更に、「食にこだわる」ことも、テーマに入れております。

私たちは、重要な「食」のひとつとして、野菜（畑作物）に注目していきたいと考えております。

京野菜・加賀野菜などは全国的に知られていますが、「阿武隈」の地に根付いた「あぶくま（岩代）野菜」というものが、残されているかもしれません。

また、岩代地域のどこでどのような野菜が、どんな風に栽培されているのかを知ることも重要です。そのような調査を行う、「野菜探したい」隊員を募集します。

そして、調査した内容を「あぶくま野菜図譜」として、まとめて行きたいと考えております。

本日の講座にご参加され、ご興味をお持ちになられた方は隊員に応募していただき、私たちと野菜を通して引き続き、岩代の魅力を探してみませんか。

先人の定住を促した岩代の魅力とは？ 先人の業績から私たちが受け継ぐべきものは？ 行事食に見る先人の「食」の豊かさ等々を参加者の皆さんとともに考え、行動を起こすきっかけにすることが出来れば幸いです。

また、本日の会場に県立安達東高校を使わせていただくことが出来ました。更に、高校生の皆さんにも、ご参加をいただきました。県立高校を有する地域ならではの取り組みが出来たと自負しております。

深いご理解とご協力を賜りました校長先生を始め、教職員の皆様に改めて感謝申し上げます。

終わりに、地元下長折公民館様に共催団体となっていただいたこと、行政区長・自治会長・公民館役員の皆様方には、準備段階から何かとお世話になりましたこと、この場をお借りして心からお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

岩代学講座開催によせて

二本松市下長折公民館

館長 松山 善一

一言、ごあいさつを申し上げます。

本日はお忙しい時期にもかかわらず、岩代学講座にご参加いただき、大変ありがとうございました。

私ども下長折公民館は、地元行政区の住民活動において、主に文化スポーツ活動を担当しております。春の地元ウォーキング、夏と冬の球技大会、秋のパークゴルフ大会等により、地域の親睦と交流を深めてまいりました。

地元ウォーキングは、名所・旧跡を訪ねることで地元再発見の行事となり、「下長折なるほどマップ」を編集・発行するに至っております。

この「下長折なるほどマップ」は、市の教育委員会を通じて市内全域の公民館に配布されておりますが、まだご覧になられていない方は、本日若干ですが準備いたしましたので、どうぞお持ち帰りください。

さて、本日の岩代学講座ですが「下長折なるほどマップ」にも何箇所か掲載いたしました、地元の偉人「渡邊閑哉翁」の業績について、勉強する機会を持ちたいとの声が役員会で出されておりました。

そのような中、あぶくま野菜図譜をつくる実行委員会様より共催の申し入れがありました。これを受けて役員会を開き賛同を得るとともに、行政区長・自治会長の皆様にもご協力をいただき、地域の皆様への周知・参加の呼びかけを行ってまいりました。

このように素晴らしい会場で、また子供さん、学生からお年寄りの皆さんまで幅広くご参集をいただき、地元学を勉強できることは大きな喜びです。

今後とも、地元公民館活動へのご理解とご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

【第1部】地域を学ぶ／あぶくま学の視点－阿武隈の魅力、岩代の魅力



吉田 桂子（よしだ けいこ）氏

- ・NPO 法人あぶくま地域づくり推進機構 副理事長
- ・戸渡リターンプロジェクト実行委員会 事務局長
- ・みれっとファーム主宰

名古屋市出身

昭和59年 夫と1歳の長男と共に、川内村の山中に東京世田谷から移住。
昭和60年 いわき市小川町戸渡（とわだ）地区に転居。みれっとファームを設立。
平成13年 地区の廃校を保存活用するため、戸渡リターンプロジェクトを設立。
平成18年 特定非営利活動法人あぶくま地域づくり推進機構副理事長に就任。
地域学としてのあぶくま学を担当。

この地に魅せられて

〔あぶくま〕という地名は、アイヌ語の〔アムクマ〕が語源だと言われています。ゆったり横たわる、という意味だそうです。

深くとも険しくはない山々は豊かに生命を育み、おおらかに流れる河川がゆつたりと歌うように流れています。

厳しすぎない気候と天水に恵まれ、人々が山の懐深くまで田畠を切り開いて生活しているのも、この地域の特徴のひとつですね。

そして岩代の地名は阿武隈地域特有の頑強な地盤を象徴しており、起伏にとんだ地形を活かした農業には学ぶものが多くあるように思います。

メモ :



【第2部】先人に学ぶ／地元の偉人、渡邊 閑哉の魅力



浅和 宏（あさわ ひろし）氏

- ・埼玉ラオス友好協会郡山支部会員
- ・日本詩吟学院岳風会認可郡山吟道会会員
- ・「庵仙」の雅号を持つ

昭和15年 福島県安達郡本宮町出身。

38年間の教員生活を送るが、そのほとんどが中学校勤務。

うち、校長として6年

旧岩代町立小浜小学校を3年間務めた後、定年退職。

現在、貴重な経験を活かし、本宮まゆみ小学校「親と子どもの相談員」

渡邊 閑哉との出会い

小浜に勤務するまで、閑哉に関する知識は皆無。

小学校の授業で、「郷土の偉人（だったかな？）」を生徒たちが勉強していることに興味を持ち、個人的にもう少し詳しく知りたいと、資料収集をしたのが始まり。

閑哉のHP（庵仙名で掲載）

http://www.geocities.jp/kanshi_05/kansai1

も覗いてみてください。（開かない時は、「渡邊閑哉」で検索）

なお、閑哉に倣い、始めた漢詩（上記検索後、作者のページへ）もご覧いただければ幸いです。

メモ：



地元の偉人、渡邊 閑哉の魅力

1. 閑哉の時代

2. 閑哉の生き立ち

3. 閑哉という人

4. 閑哉の業績

5. 閑哉の作品に見る

6. 小浜の課題



春色帰柳上

春色 柳上に帰れ

元是奥東僻遠地

元是れ 奥東 僮遠の地、

不帰皇化三千年

皇化に帰らざること 三千年。

今朝始得為王土

今朝 始めて 王土と為るを得たり、

家家舞踏祝堯天

家家 舞踏して 堯天を祝おう。

閑哉の生涯

年	西暦	年齢	内容	備考
寛成 10年	1798	1	小浜名主、渡邊寧の四子として誕生	
	1804	7	この頃、絵双紙・軍書を愛読	
	1814	16	二本松藩の儒学者、渡邊竹窓の門に	
			入り漢学を学ぶ	
			この頃、俳句も身につける	
			藩校の教授の推薦あるが、辞退する	
文化 14年	1817	19	木幡村名主に、抜擢される	
			村を復興させ、後任に譲る	
文政 6年	1823	25	帰郷し、晴耕雨読の日々を送る	
天保 10年	1839	41	二本松藩の命令で伊勢神宮・関西・ 四国・九州を遍歴	「松斎記」に まとめる
嘉永 2年	1849	51	鈴石村名主	
			前名主の作った、多額の借金を返済	
安政 5年	1858	60	藩主の命により、長折村名主兼務	家訓
			この年、60歳で退任	「靈松記」
			退任後、門弟400人	
明治元年	1868	70	岳の湯を鉄小屋から、塩沢木の根坂 に引いた	
			この頃から、俳句や漢詩を作る	
明治 3年	1870	72	安積疎水開拓に、尽力	
			建白書を、県令に提出	
明治 4年	1871	73	安場保和と懇談	「開拓吟」
明治 5年	1872	74	第3次踏査	「松斎句集」
明治 6年	1873	75	県令は、国の井上大蔵大輔に謀った 3月、体調を崩す 8月19日、死去	
明治 12年	1879		安積疎水工事着工	
明治 15年	1882		安積疎水工事完成	
明治 33年	1900		閑哉の詩碑を建て、徳を讃えた	

【第3部】伝統を食す／岩代の行事食を作つて食べよう！！



山田 マサ子（やまだ まさこ） 氏

・二本松市生活研究グループ連絡協議会岩代支部会員
なでしこ代表

少し前の岩代で食べていた行事食を再現し、さあ お昼ですよ。
いただきま～す！

えびす講の料理⇒旧暦10月20日のえびす講に、今年の豊作に感謝し来年の
豊作を祈願して食べます。

お膳は、恵比寿様と大黒様に供えるので、2膳必要です。

団子大師講⇒11月14日の大師講に、食べます。

大根大師講⇒11月24日の大師講に、無病息災を祈つて食べます。
贅沢をしないようにと大根の分、お米を減らして節約を心がけました。

冬至かぼちゃ⇒12月22日の冬至に、厳しい寒さに向けて風邪を引かないよう
に食べます。ゆず湯に入ると、厄除けになるとも言われてきました。

ごちそうさまでした！

メモ：



【第4部】みんなで話そう／行事食はどうだった？ 毎日の食卓にはどんな野菜が並ぶかな？



松井 優子（まつい ゆうこ）氏

・伝わることは探索人 Wordian
・ふくしまワークショップ倶楽部 事務局担当

郡山市在住。富山県富山市出身。1988年、福島市内の会社に勤務後、1992年より自治体職員。ふくしまワークショップ倶楽部に所属し、ワークショップを企画運営して地域づくりやNPO活動のお手伝いも実践中。

「みんなで一緒に、なにかを学ぶとき、計画を立てるとき、あるいは何かを実行に移すとき、小さな声・弱い声・つぶやき・本音が素直に出せて、対立や葛藤や悩みも受けとめあえるような、いいコミュニケーションが生まれると、思いも寄らぬ創造的な力が生まれます。今までの研修会や会議・イベントが、参加型・交流型・体験型になるようちょっと工夫をする（＝ワークショップ型にする）ことで、文殊の知恵が生まれる場づくりをしてみませんか。」

「伝わることは探索人 Wordian（わーでいあん）」は、屋号のようなもの。

ホームページは、<http://homepage3.nifty.com/wordian/>。

« みんなで話そう »

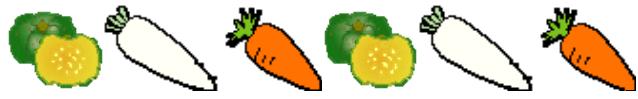
- ① “いわしろ” って面白い！ ~発見したこと・知りたいこと~
- ② “ 野 菜 ” って面白い！ ~発見したこと・知りたいこと~

メモ :





~~~×モ~~~



お疲れさまでした。お気をつけて、お帰りください。



あぶくま野菜図譜をつくる実行委員会